

平成 25 年度新入生オリエンテーション

神屋 郁子

Yuko KAMIYA

九州産業大学 情報科学部 情報科学科

Faculty of Information Science, Kyusyu Sangyo University
kamiya@is.kyusan-u.ac.jp, <http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~kamiya/>

1. はじめに

九州産業大学では、新入生の学生生活スタート支援のために、新入生オリエンテーションを実施している。情報科学部では、新入生オリエンテーションは合宿形式で実施しており、上級生を中心として企画・運営を行っている。本稿では平成 25 年度の新入生オリエンテーションについて報告する。

2. 概要

平成 25 年度の新入生オリエンテーションは 4 月 5 日（金）、6 日（土）に福岡県宗像市のグローバルアリーナにて実施した。参加者は新入生 177 人と上級生 19 名、教員 19 名であった。新入生オリエンテーションの間は、1 年生前期の科目である基礎ゼミナールのクラスごとに分かれて活動した。このグループは教員 1 名・新入生約 10 名からなる。オリエンテーション期間中は各グループに上級生が 1 名以上配置されており、2 日間のオリエンテーションを通して、新入生の誘導などを行った。表 1 にスケジュールを記載する。

4 月 5 日は午前中に学生部による学生生活の紹介・学友会執行部による学友会紹介があった。午後は初めに、上述の基礎ゼミナールのグループに分かれ、教員と学生の顔合わせを行った。その後、12107 教室に全員が集合して出発式を行い、4 台のバスに分かれて合宿地であるグローバルアリーナへ向かった。移動後は上級生の誘導のもと、各ロッジにチェックインし荷物を整理した後、体育館へ集合し、コミュニケーションワークを行った。夕食、自由時間を挟んで再び体育館に集合し、上級生による学生生活紹介が行われた。入浴と自由時間の後、23 時には消灯した。

4 月 6 日は朝食を終えた後、各自のロッジに戻り、

上級生の指導の元、ロッジを清掃し、チェックアウトした後、体育館へと集合した。例年は 1 日目に科目紹介を行い、2 日目に時間割作成を行ってきた。今年は 2 日目に科目紹介があり、その後時間割作成を行った。時間割作成終了後、バスで大学への帰路に着き、大学到着後 12107 教室に集合して解散式を行った。

表 1 スケジュール

4 月 5 日（金）	
10:00-12:00	学生生活オリエンテーション
13:00-13:30	基礎ゼミナール
13:30-13:45	出発式
13:45-14:45	グローバルアリーナへ移動（貸切バス）
14:45-15:00	チェックイン
15:00-17:00	コミュニケーションワーク（体育館）
17:15-18:00	夕食
18:00-19:00	自由時間
19:00-20:00	学生生活紹介（体育館）
21:30-23:00	入浴、自由時間、消灯
4 月 6 日（土）	
7:00-8:45	朝食
8:45-9:30	清掃・チェックアウト
9:30-12:00	学生生活紹介（科目説明）、時間割作成（体育館）
12:00-12:50	九州産業大学へ移動（貸切バス）
12:50-13:00	解散式

3. 準備と実施内容

3.1 準備

新入生オリエンテーションでは、例年上級生がイベントの企画・運営を行う。今回は 2 年生から大学院の学生まで上級生 19 名が参加し、1 月下旬にキックオフミーティングを行った。運営は前年に新入生

として参加した2年生、スタッフとして参加した3年生を中心に、4年生以上の上級生はこれまでの経験や反省を生かして助言やサポートを行った。当日までに10数回のミーティングを行い、今回の内容について議論を行った。

3.2 コミュニケーションワーク

コミュニケーションワークは、今年度もキャリアコンサルタントの荒武勢津子先生にお願いをした。上級生や教員も参加し、新入生同士、また新入生と上級生や教員がコミュニケーションを取ることができた。



図1 コミュニケーションワークの様子

3.3 学生生活紹介

学生生活紹介では、初日に大学での生活に関する事項やキャンパスの紹介などがあり、2日目に1年次に開講される科目について上級生から説明があった。これまでは科目紹介は初日の夜に行われていた。しかし、時間割作成時に忘れないように、2日目に移動させた。初日の学生生活紹介では、基礎ゼミナールのグループ対抗で○×クイズが行われた。今年は、クリッカーを使い、基礎ゼミナールごとの点数がリアルタイムにスクリーンに表示されるようになっていたため、例年に比べて更に盛り上がったように思えた。また、2日目の科目紹介では、1年生は時間割作成に備えて熱心に話を聞く様子が窺えた。上級生も、1年次の経験を元に科目の紹介を行うことができた。



図2 学生生活紹介

3.4 時間割作成

時間割作成では、学生生活紹介で説明された話や上級生、教員などのアドバイスをもとに時間割作成を行った。また、教職に興味がある新入生を集め、教職に関する説明も行われた。ほとんどの新入生が時間割作成未経験である。しかし、上級生が、予め必修科目が予め埋まっている状態の時間割を作成し、新入生に配付したため、比較的スムーズに時間割作成ができたようであった。また、選択科目についても、過去に受講した上級生のアドバイスやシラバスを元に、時間割作成が行っていたようであった。



図3 先輩の話を熱心に聞き入る新入生たち

4. アンケート結果

最後に、新入生を対象に行ったアンケートの結果を紹介する。オリエンテーション全体の満足度について図1、イベントごとの満足度について図2に示す。

オリエンテーション全体の満足度については、とても有意義が31%、かなり有意義が38%、有意義が23%であり、全体として今回のオリエンテーションは有意義なものとなったようだ。自由記述には「参

加しやすいイベントで緊張や不安が減った。」「色々な人と知り合えて楽しかった。」「今回のオリエンテーションで、みんなとの距離が縮まってよかったと思うし、友達も何人かできたので、非常に良かったです。」などの意見があった。

イベントごとの満足度については、時間割作成が最も高い数値であった。時間割作成については、半数以上の新入生がとても有意義と回答しており、かなり有意義を加えると89%になる。また、時間割作成に次いで上級生の学生生活紹介も満足度が高かった。大学への不安を持つ学生にとって、上級生からのアドバイスは有益なものではないかと考える。

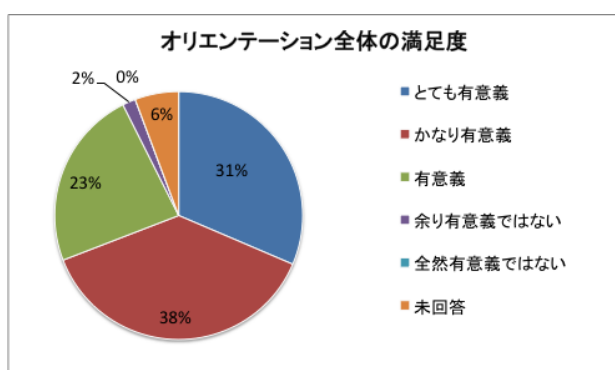


図4 オリエンテーション全体の満足度

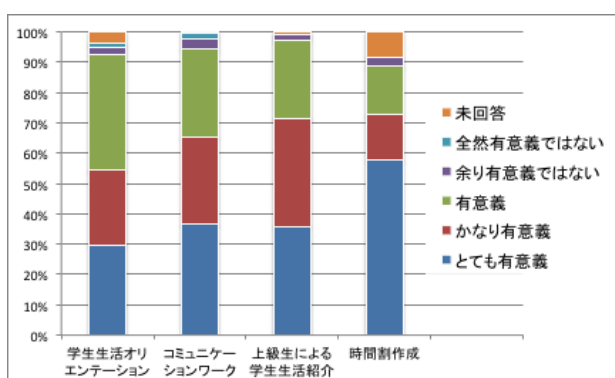


図5 イベントごとの満足度

5. まとめ

今年度も、学生を主体として、無事にオリエンテーションを行うことができた。毎年新入生オリエンテーションを実施しているが、春休みの短い時間を割いて新入生オリエンテーションに参加してくれる上級生の協力なくして新入生オリエンテーションは実施することができない。今年度参加してくれた19名の上級生に感謝すると共に、今後も学生を主体と

した新入生オリエンテーションを実施していくことができるような体勢を作ることが重要であると考えている。図6は、学部から参加してくれた上級生への感謝状の贈呈式のものである。



図6 感謝状授与式